

天竜森林管理署では、国有林内のつる植物を使って、秋に2回のつるかご編み体験を行っています。今年度も「第16回 森の感謝祭」と「浜松花と緑の祭 2011」に当署も参加し、「つるかご編み体験」を行いました。昨年度の参加人数を上回る多くの方々に参加していただき、つるかご編みを楽しんでいただきました！



つるに関するまめちしき “つる切り”って？

今回のイベントで使用した“つる”は山を育てるための作業のひとつ“つる切り”をおこなった際に切ったつるです。

“つる切り”とは、木の成長を阻害するつる植物（アケビやフジなど）をナタやノコギリで切って丁寧に取り除く作業のことを言います。

木を植え、下刈りを行ってから1年おきに2回程度実施します。実施時期は、つる植物の貯蔵養分の最も少なくなる季節（7月頃）が適期となります。

第16回 森の感謝祭

平成23年10月9日（日）、浜松市浜北区にある静岡県立森林公園ビジターセンターにて「第16回 森の感謝祭」が開催されました。当日はきのこ観察会やネイチャークラフト・竹細工など自然に関する体験ができる様々なブースが出展され、全体で約3500人の来場がありました。当署も昨年同様“つるかご編み”と“竹ぼっくり作り”を実施し、約50人が訪れ、体験を楽しんでいっていただきました。



竹ぼっくり作りは竹を切るところからスタート！

竹ぼっくりあそび。
竹のいい音が会場に響いていました。



こちらはつるかご編み体験の様子。
つるかごを編んでいくのはなかなか力のいる作業。スタッフもサポートしながら作業を進めていきます。

小さな子供達もたくさん参加してくれました。子供達の作品は創造的でおもしろい！



浜松花と緑の祭 2011

平成23年10月22日（土）・23日（日）の2日間、浜松市中区のアクト通りおよび東ふれあい公園にて、「第42回秋の都市緑化祭 浜松花と緑の祭 2011」が開催されました。このイベントは「花と緑のまち・浜松」を広く市民の方々にPRすることを目的としており、当日は苗木・花苗の販売や、フラワーアレンジメントなど花や緑に親しむことができる体験イベント、花緑オークション等が実施されました。

当日の朝は、ゲリラ豪雨のような激しい雨にみまわれ、イベントの実施が心配されましたが、すぐに天気は回復し、当署のブースにもたくさんの方々が訪れ、つるかご編みを体験していただきました。

材料となる大量のつる。
あけび・ふじのつるを主に
使用しました。



“つるかご編み”のように、身近な自然にふれていただいたり、自然を楽しんでいただくことが、森林・林業や国有林のことについて知って、理解を深めていただくきっかけになればと思います。

最後に、イベントに足を運んでくださったみなさま、どうもありがとうございました。



グループで参加してくださった方々。
各々の個性が光るつるのバスケットになりました。



つるで編んだ素敵なランプシェード。
ペンダントライトのコードを持参して参加していただきました。